

ほごしゃ みなさま
保護者の皆様へ

たぶん かきょうせいしゃかい じつげん 多文化共生社会の実現をめざして

～「ほんみょう (ルーツにつながる名前) を呼び・名のる」ために～

おおさかしきょういくいいんかい
大阪市教育局では、たようぶんか たが りかい あ とも い
多様な文化を互いに理解し合い、共に生きていこうとする、
たぶん かきょうせいしゃかい ししつ のうりよく も こ はぐく たよう かちかん
多文化共生社会をめざす資質や能力を持った子どもを育むために、多様な価値観や
ぶんか も こ どうし とも まな たぶん かきょうせいきょういく すいしん
文化を持っている子ども同士が共に学ぶ多文化共生教育を推進しております。

こくさいか しんてん ともな おおさかしりつようちえん しょうがっこう ちゅうがっこう こうとうがっこう かんこく ちょうせん
国際化の進展に伴い、大阪市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校には、韓国・朝鮮
をはじめ、ちゅうごく フィリピン、ベトナム、ペルー、ブラジルなど いじょう くに ちいき
40以上の国と地域にル
ーツのある子どもが通園・通学しています。

また、「ほんみょう よ な がっこうえん かんきょう せつきよくてき すす
「本名を呼び・名のる」ことができる学校園の環境づくりを積極的に進めて
おります。なまえ こじん しょうちょう ほんみょう つか しぜん
名前は個人を象徴するものであり、本名を使うことが自然です。

いっぼう しんき らいにち こ こくさいけっこん かてい う こ さまざま けいい
一方、新規に来日した子ども、国際結婚の家庭に生まれた子ども、様々な経緯により
ざいにち こ にほんこくせき しゅとく こ など こ みんぞくてきはけい たよう
在日している子ども、日本国籍を取得した子ども等、子どもたちの民族的背景は多様で
す。こどもたちの じそんかんじょう たか ぼご ぼぶんか ほじ かんが
自尊心を高めること、母語・母文化の保持を考えると、「ルーツに
つながるなまえ たいせつ おも
名前」も大切だと思います。

ほんしきょういくいいんかい こんご ほんみょう なまえ しょう じこ
本市教育局は、今後も本名（ルーツにつながる名前）を使用することで自己のアイ
デンティティの かくりつ ゆた で あ ちがいを豊かさとして認め合う子どもの育成に
と く ほんみょう なまえ しょう お へんけん
取り組むとともに、本名（ルーツにつながる名前）を使用することによって起きる偏見
や差別をなくすための しょう どう つと
指導に努めてまいります。

ほごしゃ みなさま いじょう しゅし りかい ねが
保護者の皆様におかれましては、以上の趣旨につきまして、ご理解をよろしくお願い
いたします。

へいせい ねん ねん がつ
平成30年（2018年） 4月

おおさかしきょういくいいんかい
大阪市教育局